

## 祝賀会会場図



## 秋田県退職校長会結成50周年記念出版



本誌の構成は、次のようになっている。第I章の秋田県の学習指導（授業風景）の変遷は、秋田県教育の流れの中で秋田県の教師の授業研究について考察したものであり、第II章の学習指導に関するアンケート調査から得たあきたの教師たちの実態は、現状把握のためのエビデンスを得るための調査分析であり、第III章のあきたの教育 あすを見つめては、「大切度」と「役立ち度」からの提言であり、第IV章の秋田県の教師の授業は、「秋田の教師」の授業への思いを集めたものである。

# 祝 秋田県退職校長会結成50周年

## 記念式典

10:00～10:30 4階 飛翔の間

## シンポジウム

10:50～12:20 4階 飛翔の間

テーマ 『あきたブランド』創造の教師たち  
～日本一の先生たちがいた～

## 祝賀会

12:30～14:30 4階 光琳の間

日時 令和元年10月12日（土）

会場 秋田ビューホテル

# 次第

## 記念式典

会場  
時間  
次第

4階 飛翔の間  
10:00～10:30  
国歌斉唱  
式辞  
祝辞  
来賓紹介  
綱領読み上げ

秋田県退職校長会 会長 佐藤 俊彦 様  
秋田県副知事 川原 藤原 様  
秋田県教育委員会 教育長 米田 林 様  
秋田県退職校長会 副会長 小 林 茂 様

## 記念シンポジウム

会場  
時間  
テーマ

4階 飛翔の間  
10:50～12:20  
『あきたブランド』創造の教師たち ～ 日本一の先生たちがいた～  
シンポジスト 東北大学大学院 教授 有本 昌弘 氏  
帝京平成大学 准教授 山本 佐江 氏  
秋田市立日新小学校 校長 鈴木 巧氏  
元秋田市立築山小学校 校長 濱田 眞氏

## 記念祝賀会

会場  
時間  
次第

4階 光琳の間  
12:30～14:30  
秋田県民歌斉唱  
主催者あいさつ 秋田県退職校長会 副会長 高橋 一郎 様  
はじめの乾杯 秋田県退職校長会 副会長 佐藤 磯男 様  
中締め乾杯 秋田県退職校長会 副会長 高橋 俊一 様

## 秋田県退職校長会綱領

われわれは、秋田県退職校長会の結成以来の歴史や活動を継承し、本県の教育の将来を見定め、会員としての自覚と誇りをもって、ここに綱領を制定する。

- 一 教育尊重の気運を高め、秋田教育の振興に寄与する。
- 一 生きがいをもって生涯学び続け、充実した生き方を実現する。
- 一 会員の親睦を図り、福祉の増進に努める。
- 一 地域の教育・文化の向上や、良好な環境の形成に努める。
- 一 関係機関、団体と連携・協力して、活動の発展を図る。

令和元年十月十二日（結成五十周年）制定

地区	役職	退職年度	御芳名	御席	地区	役職	退職年度	御芳名	御席
由利本荘・にかほ	副会長	H21	安倍 武義	… 桃	湯沢雄勝	理事	H25	石垣 正美	… 菊
	理事	H21	藤藤 寛子	… 桃		理事	H25	小野寺 重孝	… 桐
	副会長	H22	ミネ 和子	… 菊		理事	H23	土田 光輔	… 桃
	副会長	H25	櫻井 茂子	… 福		理事	H20	中田 光一	… 菊
	会員	H27	小坂 綾子	… 福		幹事	H25	姉崎 克昭	… 禄
	会員	H28	菅原 悦公	… 寿		幹事	H27	佐藤 義哉	… 福
	幹事	H29	佐々木 修一	… 寿		幹事	H26	草草 芳子	… 福
	幹事	H29	嶋山 晃一	… 寿		幹事	H25	齋藤 千鶴	… 菊
	事務局	H29	小坂 隆一	… 寿		幹事	H28	村山 一郎	… 禄
	幹事	H29	嶋山 隆一	… 寿		幹事	H30	高橋 剛彦	… 禄
	幹事	H30	高野 浩和	… 寿		事務局	H25	滑川 道定	… 菊
	幹事	H30	池田 司	… 禄		会議員	H 9	佐藤 裕雄	… 梅
	幹事	H30	米持 田司	… 禄		会議員	H 9	佐々木 信吾	… 梅
	会長	H16	武田 邊義	… 梅		会議員	H10	佐々木 信吾	… 梅
	副会長	H21	渡邊 義實	… 桐		会議員	H11	衣笠 昭生	… 桜
	副会長	H23	千田 文和	… 桐		会議員	H11	菅原 昭子	… 桜
	副会長	H21	柴田 正幸	… 桐		会議員	H11	佐々木 庄悦	… 桜
	理事	H18	堀川 永蔵	… 福		会議員	H14	柏谷 昭彦	… 桜
	幹事	H26	山崎 敏夫	… 福		会議員	H17	佐藤 和夫	… 橋
	監事	H19	宮崎 雅心	… 福		会議員	H18	原田 滋誠	… 橋
監事	H28	佐藤 夫一	… 禄	理事	H18	羽場 郁子	… 橋		
幹事	H26	石井 広功	… 桃	監事	H21	相柳 久夫	… 桃		
幹事	H29	加藤 功肇	… 桃	会議員	H21	八田 隆雄	… 桃		
幹事	H30	小西 澄	… 桃	会議員	H21	乳井 康雄	… 桃		
会議員	H18	鈴木 真久	… 桃	会議員	H21	二井 康雄	… 桃		
会議員	H23	大友 志桂	… 桃	会議員	H22	石川 勲	… 桐		
会議員	H26	田口 桂人	… 桃	理事	H27	高橋 ゆり	… 柏		
会議員	H30	竹村 尚人	… 竹	代議員	H29	刈田 茂雄	… 寿		
会議員	H21	高橋 俊一	… 桐	会議員	H30	刈田 澄重	… 寿		
副会長	H23	佐藤 民男	… 葵	顧問	H 7	高佐 重雄	… 松		
副会長	H24	古澤 俊勝	… 葵	顧問	H12	千藤 昭彦	… 松		
幹事	H12	滝澤 将弘	… 桜	副会長	H19	佐藤 俊一郎	… 竹		
幹事	H14	伊藤 孝憲	… 桜	常任理事	H19	高橋 栄二	… 柏		
幹事	H17	高橋 準一	… 桃	理事	H25	伊藤 豪之助	… 梅		
監事	H20	佐々木 淳和	… 桃	事務局	H15	加藤 生	… 柏		
幹事	H22	阿部 弘	… 桃	事務局	H25	長澤 公	… 柏		
幹事	H29	永上 田孝	… 禄	副事務局長	H29	佐藤 淳均	… 柏		
幹事	H30	上田 孝	… 禄	事業部長	H24	高大 幸弘	… 柏		
事務局	H31	佐々木 野茂	… 葵	研修部長	H25	大三 喜彦	… 柏		
事務局	H24	西野 和昭	… 葵	研修部長	H26	米澤 俊一	… 柏		
事務局	H24	阿部 敏昭	… 葵	広報部長	H27	米澤 俊一	… 柏		
事務局	H27	永川 真須夫	… 福	事務局	H28	加賀 英子	… 禄		
事務局	H26	石川 真須夫	… 福	事務局	H29	平塚 部也	… 禄		
会議員	H29	佐々木 藤一	… 竹	事務局	H27	阿部 谷也	… 禄		
会長	H14	佐藤 朋裕	… 葵	事務局	H30	茜大 俊哲	… 禄		
副会長	H24	大阿 哲	… 葵	事務局	H30	茜大 俊哲	… 禄		
理事	H22	阿部 哲	… 葵	事務局	H30	佐々木 俊哲	… 禄		

## 《シンポジウム参加者》

御芳名	所属	職名	御芳名	所属	職名
佐藤 孝哉	秋田市教育委員会	教育長	松橋 浩行	秋田市立八橋小学校	校長
佐々木 亨三	由利本荘市教育委員会	教育長	本間 光幸	由利本荘市立大内小学校	校長
佐藤 博志	北秋田市立鷹巣南中学校	校長	今野 天美	大仙市立協和小学校	校長
大濱 友智	秋田市立築山小学校	校長	武藏 優紀	大仙市立大曲小学校	校長
千葉 松寿	秋田市立寺内小学校	校長	佐藤 政美	大仙市立西仙北小学校	校長
千葉 学	秋田市立中通小学校	校長	千 葉 圭子	秋田大学教育文化学部附属小学校	副校長
齋藤 彰	秋田市立上北手小学校	校長			

※お名前・お席順に誤りがございましたら、此の度の慶事に免じまして平に御容赦の程お願い申し上げます。

# 秋田県退職校長会結成50周年記念事業 参加者



## 秋田の教師について語る日

秋田県退職校長会 会長 佐藤 俊彦

### 《 御来賓 》

所属	御芳名	御席
秋田県副知事	川原 誠	… -
秋田県教育委員会 教育長	米田 進	… -
秋田県教育庁義務教育課 課長	石川 政昭	… 松
秋田県小学校長会 会長	七尾 尊志	… 松
秋田県中学校長会 会長	石郷岡 仁司	… 松
秋田県高等学校長協会 会長	安田 浩幸	… -
秋田県退職公務員連盟 会長	野中和 郎	… 松
秋田県教育協会 会長	伊藤 薫	… 松
秋田県公立小・中学校女性校長会 会長	加藤 美樹	… 松
東北大学大学院 教授	有本 昌弘	… 竹
帝京平成大学 准教授	山本 佐江	… 竹
秋田市立日新小学校 校長	鈴木 巧	… 竹
元秋田市立築山小学校 校長	濱田 眞	… 竹

### 《 会 員 》

地区	役職	退職年度	御芳名	御席	地区	役職	退職年度	御芳名	御席
鹿 角	会 長	H17	石 井 勲	… 梅	能代市・山本郡	幹事長	H24	佐 藤 敬 顕	… 葵
	元会長	H 7	奈 良 公 夫	… 梅		幹 事	H26	畠 山 多 鶴	… 菊
	元会長	H 9	川 田 重三郎	… 梅		幹 事	H26	金 子 良 博	… 福
	元会長	H13	大 里 廣 明	… 桜		幹 事	H27	藤 田 卓 弥	… 寿
	副会長	H19	吉 成 博 雄	… 橘		幹 事	H29	吉 田 洋 子	… -
	理 事	H20	望 月 伸 哉	… 橘		会 員	H19	三 浦 良 則	… 葵
	事務局長	H26	吉 田 啓 一	… 菊		会 員	H24	田 村 文 雄	… 福
	監 事	H29	田 中 忠 美	… 緑		会 員	H27	工 藤 勝 明	… 寿
	会 員	H31	石 井 和 光	… 緑		会 員	H29	佐 藤 磯 男	… 竹
	会 長	H13	小 林 砂代子	… 桜		会 長	H17	佐 藤 小笠原 守	… 橘
	副会長	H13	武 田 吉 光	… 桜		副会長	H17	伊 藤 章 彰	… 桃
	副会長	H17	仲 村 友 行	… 桃		副会長	H21	柴 田 隆 夫	… 葵
	副会長	H20	小笠原 敏 明	… 桃		理 事	H24	田 沼 繁 樹	… 葵
	副会長	H20	小 林 敏 明	… 桃		理 事	H26	田 沼 繁 樹	… 葵
理 事	H16	和 田 克 郎	… 橘	理 事	H25	浅 井 部 晟	… 竹		
理 事	H28	工 藤 隆	… 緑	会 長	H16	渡 伊 藤 薫	… -		
理 事	H27	庄 司 邦 昭	… -	副会長	H18	伊 藤 正 博	… -		
幹 事	H26	田 山 義 貴	… 福	副会長	H22	齊 藤 陽 二	… -		
事務局長	H27	佐 藤 久 生	… 緑	事務局	H24	丸 山 信 幸	… 福		
前事務局	H23	菅 原 明 雄	… 福	事務局	H27	佐 藤 信 幸	… 福		
前幹事	H28	菅 東 篤	… 福	会 長	H15	小 川 輝 司	… 梅		
能代市・山本郡	会 長	H21	須 藤 幸 紀	… 梅	顧 問	H 6	土 田 輝 司	… -	
副会長	H19	佐 藤 道 代	… 橘	理 事	H14	大久保 敬 一	… 桜		
副会長	H22	牧 野 三 千 雄	… -	副会長	H15	伊 藤 孝 紀	… -		
副会長	H28	淡 路 敦 夫	… 緑	副会長	H17	柴 田 鐵 四 郎	… -		
理 事	H24	竹 内 秀 樹	… 葵	理 事	H18	三 浦 昌 弘	… 橘		
監 事	H24	近 藤 和 雄	… 葵	理 事	H20	佐 藤 和 広	… -		
監 事	H30	近 藤 正 実	… 寿	理 事	H20	渡 辺 徹	… -		

秋田県退職校長会は、昭和44年10月25日に結成された。多くの先輩たちによって引き継がれ、今年結成50年になる。半世紀である。これまでの周年行事とは違う重々しさを感じ、どんな50周年を迎えるべきかと考え始めていた4年前（平成28年度後半）、当時の佐藤重義会長から「実行委員長」の選任があった。加えて、県の組織の中に「研修委員会」が設けられ、数人の委員が任命された。平成30年度開催となる「東北地区退職校長会協議会秋田大会」と、平成31年度開催の「秋田県退職校長会結成50周年」への準備・対応を考えてのことであった。

研修委員会は、東北大会や結成50周年を視野に入れ、何が最もふさわしい取り組みであるかを検討し、議論に明け暮れた。時あたかも、「全国学力・学習状況調査」において、秋田県がトップ級を連続10年続けていた時期であった。

毎年調査対象となる児童生徒が替わっても、全国トップ級の力を維持させ続けることができていることは、とりもなおさず秋田県の教師の「授業力」が全国的に見てもトップ級にあるということになる。教室で行われている「授業」は素晴らしい学習の連続であるはずだ。学級担任や教科担任と児童生徒とのやり取りは、価値あるドラマなのである。「何らかの形（見える形）」で記録に残し、確かに引き継がないと、大量退職時代を迎えている秋田県において、大きな損失になってしまうことが懸念された。

しかし、この10年間、この成果の原因について、当事者である学校サイド（教師たち）からの発信は無かった。さらに、「秋田型探究学習」が昭和60年ごろには生まれていたことや、研究指定校における同僚性によって「授業力」が伸びて来たことなどは知られていない。こんな秋田の良さを歴史の渦に埋もれさせてしまうことは、もったいない話である。

最下位であった「昭和の学力調査」以降、全国トップ級への大躍進をした「平成の学力調査」までの、50年にわたる秋田県の教師たちの取り組みを語れるのは、私たち退職校長会が最も適しているのではないかと思いついた。この「研修委員会」の議論は熱を帯びていた。千葉昭前会長の指導のもと、この二大事業への対応は、「秋田の教師たちの授業力を語ること」を通して、「教師の望ましい自主研修への提案」ということに照準を合わせた。そして、「教師による自主研修の積み重ねが、全国上位維持を可能にしてきた重要な要因の一つであり、これからは秋田の学習指導を支えていこう」という仮説のもとで、「教師の自主研修の有用性」を明らかにしたいと考えた。その検証のエビデンスを得るために、「全県規模のアンケート調査」を行い、裏付けることになった。

このようにして、私たちの進む方向が明確になる中で、昨年度は全県的な協力体制を得て、無事に「東北地区退職校長会協議会秋田大会」を乗り越えることができた。そして今年度、「秋田県退職校長会結成50周年記念事業」を、「秋田の教師を語る集い」として位置づけ、研修委員会が作成する「秋田の教師の授業力」に焦点を当てた記念誌『秋田の教育 あすを見つめて』の発行と、長年秋田の学校を訪問し、授業分析をしてこられた大学の先生や、秋田の教師を語れる人材を集めての「シンポジウム」を開催することにした。

秋田県退職校長会「結成50周年記念式典」を挙げる本日、今日一日は「昭和40年代からの先達の素晴らしい授業にまつわる業績を語る日」にしたいと考える。学校や現職校長の応援団を自負する私たちの取り組みは、常に「秋田県教育の振興に寄与する」という活動方針に沿って、これからも揺るぎなく実行されていくことを約束して…。



## 秋田県退職校長会結成 50 周年記念式典祝辞

秋田県副知事 川原 誠

本日、「秋田県退職校長会結成50周年記念式典」が、このように盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

会員の皆様には長きにわたり、学校における直接的な関わりに加え、青少年の健全育成の積極的な推進や生涯教育を支えるための社会環境づくりを通して地域の学校を温かく支援していただくなど、秋田県教育の振興にご尽力いただいておりますことに、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

県は、昨年3月、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」を策定いたしました。本プランは、これまで2期8年間の成果を土台に、人口減少の克服や地域産業の振興等の県が抱える諸課題について、時代の潮流や社会経済情勢を踏まえ、的確に対応し、元気な秋田づくりに取り組んでいくための県政運営の指針となるものです。

我が国全体で少子高齢化と人口減少が進む中、本県は特にその動きが早く、人口減少社会における県勢の維持・発展が最重要課題であることから、県では、少子化対策や子育て支援対策などの直接的な歯止め策に加え、未来を担う人材の育成などの施策をプランに位置づけ、重点的に取り組んでいるところであります。

教育の分野におきましては、重点戦略の一つに「ふるさとの未来を拓く人づくり戦略」を位置づけ、「将来の秋田を支え、未来を果敢に切り拓く気概に満ちた人材を育成する」ことを目指しております。

あらゆる面で国際化が進展し、社会経済が大きく変化する中では、海外も含めた広い視野と柔軟な発想が求められており、グローバル社会の中で活躍していくための教養や能力を身につけた、多様な人材を育成していくことが必要不可欠です。

県民の理解と協力をいただきながら、全国に先駆けて実施している少人数学習推進事業をはじめ、地域に根ざしたキャリア教育の推進等は、子ども一人ひとりに応じた教育の充実や地域との関わりを通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことに繋がるものであるととらえております。

こうした取組が全国的に高い評価を受けてきていることは、誇らしく、子どもたちの姿に頼もしさを感じているところであります。

こうした秋田の教育の礎を築いてこられたのはまさに、本日お集まりの皆様方であり、今後も豊富な経験と高い識見をこれからの秋田県のために生かし、変わらぬお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、秋田県退職校長会のますますの発展と、ご出席の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



## 秋田県退職校長会結成 50 周年記念式典祝辞

秋田県教育委員会 教育長 米田 進

本日ここに、「秋田県退職校長会結成50周年記念式典」が開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

この50年の間、秋田県の教育を取り巻く環境は大きく変化しました。昭和30年代、全国学力テスト等に見られる秋田県の子どもたちの学力は必ずしも高いとは言えない状況でした。しかし、このような状況をなんとかしなければいけないという教育関係者の熱い思いは、基礎学力の向上に向けた各学校の授業改善への積極的な取組に通じ、「全国学力・学習状況調査」等の結果に見られるように大きな成果となって現れたものと捉えております。

県教育委員会が、平成13年度から全国に先駆けて取組んで参りました「少人数学習推進事業」は、少人数学級の対象学年を段階的に拡充し、平成28年度には義務教育全学年で実施するところとなりました。また、家庭や地域の教育力向上に向けた連携、学校と地域が一緒になって子どもたちを育てていこうとする教育的風土の醸成等は、確実に現在の子どもたちの学びの姿となって現れています。学力以外にも不登校出現率や暴力行為等の出現率の低さ、体力、運動能力においても全国トップレベルとなっていることは、皆様もご承知のとおりであります。

こういった状況は、県内だけでなく、県外、そして海外からも注目を集めるところとなっております。県では「秋田の教育力発信事業」の一環として学力向上フォーラムを開催しておりますが、平成30年度、大館市を会場に行われたフォーラムへは県外からの489名を併せ、1,433名の教育関係者が参加しております。この他にも県外の学校関係者による本県小中学校等への視察は年々増えてきており、昨年度は全県で、のべ4,728人を数えました。さらに、教育専門監等への県外からの講話や模擬授業の提示等の依頼も多くあり、秋田の教育を全国各地に発信しております。

また、「秋田の教育資産を活用した海外交流促進事業」において、「秋田の探究型授業」に基づく、グローバル社会に対応できる授業モデルについて、タイ王国の連携教育機関と共同研究を進めて参りました。タイの関係者からもその効果について、大いに手応えを感じている様子が伝わってきております。

これらのことはとりもなおさず皆様が長年にわたり本県教育に携わり、リーダーシップを発揮しながら、その礎を築いてこられた成果であると考えております。近年、学校教育に求められるものはますます多くなり、課題も多岐にわたります。その豊かな経験に裏打ちされた教育への高い識見に基づき、今後とも学校教育の充実・発展のためにご指導いただければ幸いです。

最後となりましたが、皆様におかれましては御健康に留意され、ますますご活躍されること、そして本会の一層の充実・発展を心から御祈念いたしまして、祝辞といたします。